

# 第 8 回札幌市学校適正配置検討懇談会

日時：平成 17 年 10 月 31 日（月）午前 9 時 30 分～

場所：札幌市教育委員会 6 階 A・B 会議室

1 開 会

2 議 事

（ 1 ） 事務局資料説明 ……資料 1、2

（ 2 ） 意見提言（案）について ……資料 1、2  
協 議

（ 3 ） 意見交換

3 今後の日程について

4 閉 会

**事務局（配置計画担当課長）** 皆様おはようございます。司会を務めさせていただきます配置計画担当課長の木村でございます。本日は大変お忙しい中お集まり頂きまして誠にありがとうございます。それでは定刻の9時30分となりましたので会議を始めさせていただきますと思います。

まず開会に先立ちまして会議開催の定足数でございますけれども、本日はお一人遅れてされることとなっております。現在すでに委員15名中13名の委員にご出席を頂いておりますので、懇談会設置要綱の第5条2項に規定しております定足数の過半数を超えておりますことをご報告します。それでは村瀬座長よろしく申し上げます。

**村瀬座長** あらためましておはようございます。本日の進行予定ですが前回に引き続きまして当懇談会の意見提言の検討を行う予定です。

今回はいよいよ最後の懇談会になりますので、まずお手元にあります資料、意見提言の修正案の内容について、事務局から簡単にご説明をいただきたいと思います。

その後に皆様からご意見を出していただきたいと思います。本日の進行はこのような予定でよろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、それでは事務局から説明をお願い致します。

**事務局（配置計画担当係長）** 皆様おはようございます。計画課配置計画担当係長の大谷でございます。私の方から資料の説明をさせていただきます。本日の資料につきましては事前に皆様へ送付させていただいております。それではご報告させていただきます。

まず資料1ですけれども、この意見提言修正案は、前回の第7回の懇談会で委員の皆様からいただいた意見を元に、事務局と座長、副座長によって、全体のバランスですとか、一つの文節を見直して、再構成をさせていただいております。

一般の方にも分かりやすいようにという配慮から、専門的な用語は別のわかりやすい言葉に言い換えたり、漢字を平仮名表記に直している部分もございます。

それともう一点、資料2で修正箇所一覧というものがございまして、修正前、修正後と分けて修正点をまとめ、修正後の部分は赤字で印刷しているものがございます。

こちら修正前というのは前回の第7回の懇談会の内容で、修正後というのは今回の内容ですので、前回でご意見があって今回このように変わりましたと、ぱっと見て分かるようにお作りいたしましたので、今日の懇談会の中でもこの修正箇所一覧をご覧になっていただければ、前に書いた部分がどのように直っているのかと、非常に分かりやすいのではないかと思います。委員の皆様には事前にお送りしておりますので、本日は、句読点ですとか、語句の前後の入れ替えですとか細部にわたっての説明自体は省かせていただきます。

早いもので本日が最後の懇談会となってしまいまして、わずか8回の懇談会でこのようなバランスのとれたかつ内容のある意見提言をまとめていただき、委員の皆様には敬意を表するとともに、事務局一同感謝をいたしております。あらためてこの意見提言を読み返しますとその部分、部分で、第何回の懇談会で委員さんが発言した場面ですとか、当時の論議ですとかが私の脳裏に浮かんで参ります。これは、ここにいる委員の皆さん全員で作

りあげた意見提言であり、皆さんの発言の一つ一つが巧みにコラージュされていると思います。今日も座長の進行で前回同様に一章ごと確認していただきますので、よろしくお願い致します。それでは村瀬座長よろしくお願い致します。

**村瀬座長** ありがとうございます。ただいまの事務局の説明でございますが、委員の皆さんいかがですか。何かご質問等ありましたらお願いします。よろしいですか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** それでは意見提言、修正案と対照表を見ながら、議論を始めて参りたいと思います。前回の懇談会では様々な修正意見を出していただきました。またその後も何名かの方から修正意見を出していただきましてありがとうございました。その点も含めまして項目ごと順番に確認していきたくと思います。それでは時間に限りがございますので、早速ご意見を伺い、確認して参りたいと思います。

まず表紙の次のページ「目次」についてであります。前回の懇談会で第4章にあった統合の効果を2章に盛り込めないかというご意見がありまして、検討事項とさせていただきますので副座長から解説をお願いしたいと思います。

**佐藤副座長** 前回、座長と私にお任せいただいた点が2点ほどあったわけなのですが、そのうちのまず1点目でございます。「統合の効果」の節になっておりましたけれども、これは章として3章の前にもってくるということでありました。

実際に変更し、座長とご相談致しまして、全体構成のバランス、前後の章とのつながり、内容等について確認致しましたけれども、特に問題なくスムーズに繋がるということで、この第2章「統合の効果」を第3章の前にもってくるという形で記載致しました。

**村瀬座長** はい、ありがとうございます。この「目次」についてはよろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

私も前回12年の適正規模懇談会の検証をきちんと済ませて、新しい視点で取り組んだということを強調するためには、前に持ってきたほうが良いかなとも思っておりましたので。皆さん異議なしと言う声ですのでこのようにさせていただきたいと思います。はい、よろしければ次に進ませていただきます。

1ページの「はじめに」は私の言葉として考えさせていただきました。何かご意見がありましたらいただきたいと思うのですが、よろしいですか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** あとでお気づきの点ありましたら、またご連絡いただきたいと思います。それでは2ページ「学校適正配置検討の背景」について、何かご意見がありましたらお

願いたいと思います。前回はご意見がありませんでしたが、何箇所か語句の見直しを行っております。対照表をご覧いただけたらと思います。2ページどうでしょうか。よろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、次に3ページ「統合の効果」について願いたいと思います。これは先ほど副座長から説明がありましたように、前回の案では第4章にあったのを第2章に移動しました。あとは漢字を平仮名に直した位しか修正しておりません。何かご意見ありましたら願いたいと思います。よろしいですか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、それでは次に9ページということで「学校規模のあり方を考える視点について」で、この3番目、何かご意見ありましたら願いたいと思います。ここも前回かなり話し合ったところですので、よろしいですか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** それでは次に10ページの「学級規模の視点」についてのところで、懇談会としての見解を入れるべきだというご意見がありまして、「なお」以降の文末を修正しております。

9、10、11ページのところで何かありましたら願いたいと思います。10ページの「指導体制の視点」の最後の文を一旦どこかで文章を区切った方が良くのご意見があったと思います。そのことで、この点も修正させていただいております。また、10ページの学級規模の視点、それから11ページの学校規模のあり方、視点の(1)(2)(3)です。11ページまでよろしいですか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、では続きまして、小学校における適正な学校規模についてということでどうでしょう。ここではまず12ページの上の四角で囲ってある「まとめ」の文章を中学校のスタイルに合わせて文章を整理しております。

それから「教育環境に対する考え」の中で、意見のあった「自立を妨げる恐れが多い」というところを、「自立を妨げる場合もある」というような文言に修正しております。

加えまして、「ただし」以降の最後の5行が大きな変更点です。ご意見に出された「25学級以上の学校は分離すべきではない」というところを前回から追加しております。この12ページはよろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、ご意見がなければ続いて13ページの「指導体制に関する考え方」に移らせていただきます。13ページ指導体制に関する考え方ですが、小規模校や適正規模校の記載内容が弱いとのご指摘がありまして、委員さんから経験に基づく具体例をあげながら、説明していただきましたので、そこの辺りを大幅に加筆しております。前回の案に比べてかなり分かりやすくなったかなと思いますがいかがでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、それでは14ページ「中学校における適正な学校規模について」です。こちらは「指導体制に対する考え方」のところで、「学校全体としての考え方を入れる」というご意見がありまして、「学校全体としての指導体制面や」と文言を追加致しております。

また全体のバランスをみて、句読点や若干の語句を修正しております。修正案についていかがでしょうか。よろしいですか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、では14ページ、15ページを終わりました、次に16ページ「適正配置のあり方」についてご意見をお願いしたいと思います。この章はかなり細かく修正を加えております。まず第1の適正配置あり方の考え方についてご意見をお願いしたいと思います。この適正配置に対する考え方の「学校規模に対する考え方」の上の2行、これは意味が分かりにくい文章でしたので、全面的に見直しております。

また他の文章も語句の前後入れ替え等を細かく修正しております。「教育環境や指導体制などの面から、適正な学校規模が望ましいが、少なくとも全学年にわたってクラス替えが可能となる学級規模が必要である。」という部分で、以下16ページよろしいですか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** では、次の17ページの「適正配置を行う手法」に対する考え方ですがどうでしょうか。適正配置を行う手法ですが、後段にあった「老朽化して改築時期を迎えている校舎は近隣の数校を含めて統廃合を検討する」という文は「手法」という内容とはちょっと違うため、18ページの「その他」の方に移させていただきました。その他で「老朽化して校舎の建て替え時期を迎えている」をここに移させていただきます。

17ページ手法については、隣接する学校の通学区域を見直す通学区域の変更と、隣接する2校以上の学校を統合する統廃合の二つの手法により、学校規模の適正化をはかることが考えられると、このようにさせていただいたのですが、よろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、それでは17ページ中段の「学校選択制に対する考え方」は、ご意見いただきましたので、「影響が考えられる」を強調しまして、「調査検討等の是非は別立て」というご意見をふまえて、このように修正いたしましたがいかがでしょうか。

ここでちょっと言い回しがちょっと硬い感じもあるので、こちら辺をもう少し考えさせていただくかもしれません。「非常に大きいものと捉えること」という言い回しと、「調査研究すること」のところに例えば「など」を入れたりした方がいいかなと思ったりしております。皆さんに配布された後に、私の方でちょっと考えたものですから。また多少のこの文言の修正は私と副座長に任せていただけたらと思いますが、よろしいですか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、それでは 17 ページの一番下の「既存校舎の利活用などに対する考え方」ですが、前回案では下段に「なお耐震補強工事などによって、施設の延命化を図っていく必要もあるものと考えられる。」という文章が入っていたのですが、「耐震補強工事は適正配置の実施の有無に関わらず子どもたちの安全ということを考えると、当然行わなければならないものである」とするご意見ですとか、「誤解を招くので、延命化という言葉も使わない方がよい」というご意見もありました。

前回では「表現を見直す」ということでお話していましたが、統廃合実施の際にしか耐震補強工事を行わないとか、一般市民からも誤解を受ける恐れもあるということで、副座長や事務局とも相談の上で、後段の一文自体を削除させていただきました。こういう経過でこのような案になっておりますが、よろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、それでは 17 ページから 18 ページの「その他」に行かせていただきますが、先ほどお話ししましたように「老朽化した校舎の検討」をここに移動させていただきました。このことによって次の段落の「校舎の建て替え時の小中合築の検討」との建て替え時期における検討事項として、内容に統一感が出たのではないかと考えます。

また当初からここにあった「閉校となった歴史的記念品」等の文章は、その内容から地域住民への配慮といえますので、23 ページの 7 章「その他」のところに移動させていただいております。18 ページその他よろしいですか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** では次に 18 ページの(2)「適正配置を実施する際に考慮すべき事項」に入ります。いくつか細かい語句の修正がありますが、それはちょっと対照表を見ていただくとしまして、1 点佐藤副座長から説明をお願いしたいと思います。

**佐藤副座長** 前回、私と座長にお任せいただいた 2 点目でございます。(2)の 3 段落目、「統廃合の実施前後においては、教員の校務負担が一時的に増加することも懸念されることから、その軽減を念頭に置いた教員配置などの配慮も必要である。」という一文に、校長も付け加えるかどうかということの話が出ておりました。

座長等ともご相談しまして、厳密に言うとその「教員」という言葉には、校長先生は含まれないということだったようですけれども、前回の懇談会でも事務局からご説明があり

ましたように、この答申では、児童、生徒を一括して「子どもたち」と、そして学校の先生を一括して「教員」という形で表現しておりまして、ここで教員と校長は文章上区別できるというか、少し専門的な区分けはここでは必要ないのではないかとということで、広くここには先生が大変だということを意味あいとして含む、という認識で校長という言葉はここには出さずに、「教員」と一括したいということになったのですがいかがでしょうか。

**村瀬座長** ただ今の副座長からのご説明ですがどうでしょうか。よろしいですか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、それではよろしいということで、18 ページのその教員という中には、この懇談会では校長も含んでいるという解釈でいきたいと思います。

はい、では 19 ページの「その他」のところですが、下 2 行、「また、適正配置の中長期的な今後の教育環境や社会状況の変化などを考慮しながら、適宜検討していくことが望ましい。」というふうここにに入れさせていただきました。

以上でよろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** では 18、19 ページもよろしいということで、20 ページに参りたいと思います。7 章、20 ページの「通学区域の考え方」についてご意見がありましたらお願いしたいと思います。言葉の表現を一般の方にも分かりやすく、いくつか修正させていただいております。20 ページ、通学区域に対する考え方、安全に対する考え方、徒歩通学に対する考え方、ここら辺もかなりご意見いただいたところであります。また 21 ページのスクールバスに対する考え方、自転車通学に対する考え方もこのように整理させていただきました。

大きな変更点としましては、21 ページの下の段で「通学区域設定に対する考え方」というところで、ここは前回「地域に対する考え方」となっておりましたが、項目名も見直しまして、前回ご意見の出た「札幌市住区整備基本計画」に対する考えをここで整理致しました。ご意見があればお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、よろしいということで、この下から 3 行目、2 行目辺りのところで、地域の状況に即して検討することが望まれるということで、ちょっと弱い言い方になっていきますけれども、この懇談会としては検討すべきであると考えられるべきであるとか、ちょっと強めても、この間の皆様のご意見で、地域の状況を考慮しなさいというご意見がたくさんでございましたので、ここはちょっと強めた方がいいかと私はあとで思いました。ここも最後の表現を直させていただくかもしれませんが、ご了承いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、それでは 22 ページに参りたいと思います。「学校と地域の考え方」についてお願いしたいと思います。ここも文言を細かく修正しております。前回出されました意見の反映箇所は 23 ページの上から 2 つ目の文章ですが、学生ボランティアについて体制を強化するご意見をいただきましたので、このように「なお既に行われている学生ボランティアの協力などは、きめ細かな指導をサポートする有効な方策と思われるが、期間や派遣校が限定されていることなどの指摘もある。」ということで、「適正配置の実施の際には子どもたちのためにより一層きめ細かな指導が求められることから、札幌市と大学との連携をさらに深め、学生ボランティアの体制などを充実していくことが望ましい。」というように修正させていただきました。学生ボランティアのところですが、よろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、それでは 23 ページの最後に「その他」を新設しまして、6 章にあった「閉校になった学校の歴史的記念品」の文章をここに持ってきて、「閉校となった学校の歴史的記念品などは地域住民や卒業生にとっては重要な関心であることに加え、札幌市としても貴重な史料や文化財にもなる場合もあることから、その取り扱いを検討するなど、保存の方法に配慮が必要であると考えられる。」というふうにもここに持ってきました。こういう表現でよろしいでしょうか。前回ご意見をあげていただいたと思います。よろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、それでは他に何か付け加えておきたいご意見があれば、皆さんでご議論いただきたいと思います。前回かなり時間をかけてご議論いただいて、またその後も委員の皆さまからご意見いただいて、このようにさせていただきました。23 ページまでいきましたが、第 8 章までよくお読みいただいて、何か通しましてご意見ご質問等ありましたらお願いします。最後の回でありますので、ご意見いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、ありがとうございます。それでは 24 ページの「おわりに」にいいますが、佐藤副座長に書いていただいたものですが、よろしいでしょうか。佐藤副座長何か説明などありましたらお願いします。

**佐藤副座長** 特にありません。

**村瀬座長** それではよろしいでしょうか。



**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、それでは最後に25ページからの「資料編」についてですが、若干文言を修正した他、36、37ページに平成22年度推計の数値を追加致しました。何か資料編についてもご意見がありましたら、お願いしたいと思います。何かありませんか。よろしいですか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** 事前に事務局からお配りいただいたということで、委員の皆さんも熟読してこられたということで、ご意見もなく、このとおりでいいと承認されたと思います。

それでは全体を通して、もう一度ご意見、ご提言ありましたら、提言書の構成、何か言い忘れたこと、皆さんで確認しておきたいことがありましたら、どうかお願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** よろしいですか。この懇談会は10ヶ月という期間で、はじめはご意見が出されなかつたら困るかなと心配していましたが、これまでに本当に色々ご意見いただきましてありがとうございます。はい。それでは副座長、本日のまとめをお願いいたします。

**佐藤副座長** 本日は意見提言(案)が、原案どおり委員の皆さんに承認されましたので、特に議事のまとめはありません。

**村瀬座長** そうですね。それでは、この原案を承認していただいたということでご了解いただきます。もう一回最後の印刷までに確認させていただきまして、ちょっと事務局とも相談させていただきまして、細かな文言等修正させていただきたいと考えております。ご了解いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** それではありがとうございます。今日も意見提言の内容について、ご意見をいただく用意をしていたのですが、このままでよろしいということでした。何かありましたらご意見いただきたいと思います。印刷までもうちょっと時間あると思いますので。それでは何かございましたらあとでまたご連絡いただきたいと思います。

今後の流れにつきまして事務局からお願いしたいと思います。

**事務局(配置計画担当課長)** 今後につきまして本日ご審議いただきました議事内容につきまして、最終的な調整の後に、その後印刷、製本を行いまして、その後教育長へ手交という流れになるかと思えます。手交式の日程はあらためまして座長と調整させていただきます。

きますが、印刷製本の日程もございますので 11 月中旬位になるうかと思ひます。

**村瀬座長** ありがとうございます。この懇談会での意見提言を近日中にとりまとめまして、製本して、教育長に手交したいと思ひます。時期は事務局のご説明のとおり、11 月中旬に行いたいと思ひます。なお手交式のセレモニーは私と副座長にお任せしていただきたいと思ひますがよろしいでしょうか。

**委員一同** 異議なし。

**村瀬座長** はい、それでは私と副座長がこの懇談会の代表として教育長に手交させていただきますと思ひます。

この懇談会はこれが最後ですので、皆様から一言ずつ感想やご意見があれば述べていただきたいと思ひます。それでは順にお願いしたいと思ひます。

**委員** 皆さんとともに、昨年の 12 月から子どもたちにとって、最も良好な教育環境を提供するということが、どのようにあればいいかという視点で話し合いを進められ、今日まとめることが出来たことを、皆様に共に喜び合いたいと思ひます。取りまとめに大変ご尽力いただきました座長さん、副座長さんには、本当にご苦労様でした、とお礼を申し上げたいと思ひます。

「はじめに」で座長さんの言うとおり、常に話し合い、子どもたちにとって最も望ましい教育環境がどうあるべきか、ということを中心に進められたということは、学校を預かせていただく一人として、本当にお礼を申し上げたい思ひでありますし、そのまとめとして「おわりに」の副座長さんの言葉にありますけれども、子どもたちが充実した集団活動を展開し、その中で社会適応に必要な人格形成がなされていくことを、優先的に考慮すれば、学校はやはり一定の規模であることが望ましいということで、このような点でまとめられたということも、大変ありがたいと思っております。

指導のあり方、あるいは子どもたちの安全、そういう面でも色々ところでご配慮いただきながら、まとめていただいたこともありがたいと思っております。今後、教育委員会の事務局の皆さんには、統廃合ということばかりではなくて、教育条件の整備には限られた予算で大変ご苦労かけますが、また別の視点でもご支援いただければありがたいと思っております。本当にどうもありがとうございました。

**委員** 今私も思っていることを、全部述べていただいたような気がしますので、私の方からは個人的な感想になりますけれども、述べさせていただきます。

私事になりますけれども、教職最終年度にこうした機会を与えていただいて、いろいろな方と話し合いの中で、ご意見をお聞きしたりと、学校現場ではなかなかこうした方とふれあう機会がないのですけれども、学校教育、子どもたちに対する熱い思ひを伺わせていただきまして、現場を預かる者と致しまして、今一度気を引き締めた次第であります。この懇談会の話し合いの中でそういった思ひを強く致しました。是非ともこういった提言が、現実のものとなり実が実ることをご期待申し上げて、感謝の言葉としたいと思ひます。本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

**委員** 私はよく札幌市の状況が分からない状態で参加させていただいたのですが、皆さまから色々なお話を伺う中で、本当に色々勉強させていただいたと思っております。やはり、大学の中にこもっているとなかなか分からないことも多いのですが、自分のことばかりで申し訳ないのですが、このような機会を与えていただいて本当に良かったと思っております。ありがとうございました。

**委員** 何度もお休みさせていただいたものですから、何も申し上げるような立場ではないのですが、4人の子どもを持つ母親として、いろいろ日々感じた事などを、たくさん提言の中に盛り込んでいただきまして、ありがたいと思っています。これを機会に、教育の方でまた皆さん、いろいろな良い方向へ進んでいけるといいなと思っております。ありがとうございました。

**委員** 私も上の子から9年間、PTAの委員に携わっておりまして、こういう形で一委員として参加させていただいて良かったと思います。この10ヶ月間、皆様には大変お世話になりました。この意見提言も懇談会での委員の皆さんの意見が反映されたとてもいい提言書となったと思います。これからも皆さんよろしくお願い致します。ありがとうございました。

**委員** 1年間ありがとうございました。私も子をもつ母の一人としまして、これから次の世代を担っていく子どもたちに、学校環境の場を少しでもつなげていきたいなという思いがすごく強くあります。これからも一般公募にもどんどんこんな機会を与えていただいて、これからの子どもたちのためにということで、大人たちが話し合っただけであればいいなというふうに感じました。ありがとうございました。

**委員** これまで子どもを中心とした教育環境の整備を学校適正配置の考え方から検討して参りましたが、学校計画に携わっておりまして者といたしまして、大変良い提言が出来たと思っております。

この提言は、現状では良いと思いますが、あくまで教育行政としての範囲であって、大都市圏の現在の就学児童の不均等化による学区の崩壊は、少子化と都市整備の手法に大きな要因があるといわれております。

札幌も同じことが言えるのではないだろうかとは考えております。教育の現場だけで考えることは基本的な解決にならないのではないだろうかとは、別の視点も頭に入れなきゃいけないのではないかと思います。ですから札幌市におきましても、都市計画を中心とした全市的な問題として、他の部局との調整を図りその上で適正配置、計画策定を進めていただきたいなというふうに感じております。

現状の学校区を市民の立場で見ますと、このままの状況が続きますと、施設整備において、色々な拡散が出てくるのではなからうかと、ソフト面については論議の中で非常によく挙げられておりましたけれども、施設面についての格差というのは私は非常に危惧しているところでございます。事務局の資料を見ますと、今現在、小中学校の空き教室が約一千教室。数値的に捉えますと約18学級でおよそ56校分に相当しているのです。市内の数

校を懇談会の期間にお邪魔して見せていただいたのですが、現状を見ますと、余裕教室の転用教室として名前はあるのですが、実際に現実には物置か倉庫というような使い方になっておりました。

これが施設の老朽化を進め、他の教室にも影響を及ぼす結果になっていると私は思います。現場では活用を考えるという余裕がないということが、現実のようでした。この点を考えまして、現状を見定めて、早急に適正配置が、早く計画策定されることを希望しております。私はこの課題は大切なことと思います。

また、村瀬座長のお書きになった前文の「はじめに」の最後3行が、非常に今回の課題を凝縮しているように思います。これからの学校を考える上で、当該関係者以外の地域の人にも、学校をあらためて意識してもらうことが大切じゃなからうかと、私はこの8回の懇談会に参加してきまして切に感じた次第でございます。どうも委員の方々大変ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

**委員** 私、この懇談会においてかなり厳しいといいますが、きついこといわせてもらいましたけれども、本来は穏やかな性格でございます。ここにお集まりになっている皆さんは、子どもたちと子どもたちの将来ということ、第一に考えられています。多少の考え方の違いがあってもその思いは皆一緒だというふうに思っております。

そういった意味で、この懇談会で、ファミリーといったら市民の皆様にも怒られるかもしれないのですが、非常にいい雰囲気だったなと思っております。

今後、これからが大変な時期を迎えられるのだらうと思っております。適正配置、そして学校の統廃合ということになりますと、当然地域住民とのコンセンサスを得ないといけないと思っております。かといって進めていかなければならないものはいかなければならないです。

その辺の行政サイドからの説明といいますが、何といいたいでしょうか、これが非常に難しいと思っております。ですからある程度、私どもPTAもございまして、事前にこうしたいというようなことありましたら、今後もお話いただければと思っております。本当に長い間、村瀬座長さん、佐藤副座長さん、本当にありがとうございました。出来れば終わりましたら皆さんと一緒に一杯やりたいなというふうに思っております。ありがとうございました。

**委員** 私は今回統合された資生館小学校の元の学校の一つに3年間勤務させていただいております。指導する、学校を預かる立場、そして子どもの側からみて、この適正配置というものが、どうあると本当に子どもにより充実した教育環境を維持できるのかな、改善できるのかな、という視点で、意見を述べる機会がいただけたらと思っております。大変感謝しております。

やはり限られた教師集団の中では、どれだけ努力しても、熱意だけではやはり補いきれないものが多々あったかなと思っております。そしてこの中で指導体制のあり方ということがやはり一番の課題だったかなと思っております。やはり適切に教員数が確保された上での指導、子どもの側からみても、たくさんの集団の中で学ぶ意義というのはたくさんあったかなと思っております。

適正配置によって統廃合されて資生館小学校は生まれたわけなのですが、資生館小学校の子どもたちに、この懇談会を通してふれさせていただいたことによって、やはり子どもの姿を通して、結果的には良かったのかなというふうに思っておりますし、私ども

学校を預かる立場の者ではなく、子どもや保護者や地域の方々にとっても、これが良かったということが確認されて、それが子どもの姿で示されていくのが一番だったのではないかと考えています。

それからまたさらに、今後、適正配置ということが実施されていくと思うのですが、18ページに考慮すべき事項ということが、たくさん書かれておりますけれども、その中で、行政サイドの連携は勿論のことですけれども、事前の子どもたちの交流、それから教師間の交流、こういったことも統合4校でやっておりましたけれども、こういったものをやはり大切にして、子どもたちの目線でみた適正配置というものも、大事にされていかなければいけないというふうに思いました。そういった意味で全てのことがこの提言書に網羅されているのではないかなと思っております。本当にありがとうございました。

**委員** この懇談会に参加して、良かったことが色んな分野の方のお話が聞けたということが何よりでありまして、専門的な立場でこのところはこう、ここはこういうふうにメンテナンスしたらいいなど、学校までわざわざ来ていただいて色々な知恵を授けていただいたり、そういう意味で自分にとっても良かったかなと思っております。

実は先日ある用事があってインターネットで学校の情報、本州の首都圏の学校の情報を見ていたのですが、そこに「本校は来春統合されてなくなります」という記事が載っておりました。遠からず札幌市内でもそういうことがあるだろうと思います。われわれは適正な規模で、学校がつくられていけば活動しやすい、子どもにとっても生活しやすいということ語りあってきたわけですが、実際そういうふうに統廃合するということになれば、かなり手を尽くしてやっていかなければいけないと思います。その辺りのことをこれから、教育委員会中心にされていくことだと思っております。

ともあれ座長さん、副座長さん、事務局の方に色々資料を用意していただいたり、文言を整理していただいたりして、素晴らしい仕事をしてこられたなと感心しております。大変どうもありがとうございました。

**委員** 座長の「はじめに」というこの文章の中の最後のところで「保護者や学校関係者ばかりでなく、地域の皆さんで」という、「地域の皆さんで」のこの言葉の意味を考えて、私がこの地域の皆さんの一人になろうかなというふうに考えたところでございます。いずれに致しましても、子どもたちの応援団といえますか、その中の市民の一人としまして、何らかの形でお役に立てることがあればなと思いを新たにしております。委員という形で、非常に大事な役目を与えていただきまして本当にありがとうございました。皆さん本当にご苦労様でございました。どうもありがとうございました。

**委員** 最後なので、皆様が言われてしまいまして、私が言う言葉はないのですが、8回の懇談会で私自身が大変勉強させていただきました。ただ子どもたちが主体であるということは、いつまでも忘れていただきたくないなと思います。子どもたちも意見を持っておりますし、子どもたちが何を望んでいるかということも大切だと思いますので、そのことも含めて、具体的に適正配置を検討していただきますようよろしくお願い致します。座長、副座長本当にありがとうございました。皆さん本当にありがとうございました。

**佐藤副座長** いつももうすぐ終わるかなというところで、蛇足のまとめを入れまして申し訳ありませんでした。私は当初、12年の意見提言について整理をして、時代にあわせて部分的に手直しをする程度になるかなというふうに誤って考えていたのですけれども、今見ますと、委員の皆さんの多くのご達見とそれから様々な視点からのご意見によって非常に肉付けが厚く盛り込まれた意見提言になったものと思います。本当に私、特に何の役にも立たなかったのですが、各委員のご尽力に感謝する次第でございます。

それから何人かの委員の方からおっしゃっていただきましたけれども、この懇談会、非常に私も雰囲気良かったなというふうに思っております、その一端が事務局の皆さんのおかげであると思います。よくこう雰囲気づくりをやっていただいて、例えば校長先生のところに委員が行かれるとか、あるいはメールをやりとりするであるとか、直接こちらに来て様々な情報を取得したり、あるいはご自身の意見を開陳されるとか、様々なこの場だけでない交流というのが、こういったきちんとした立派な提言になって結実したというふうに思っております。こういった点からも事務局のご尽力に心から感謝する次第であります。ありがとうございました。

**村瀬座長** これで本当に最後ということで、私も皆様方の絶大なご協力によりまして無事務めを果たせていただきました。これは副座長はじめ事務局の皆さん本当に一所懸命やっていただいて、私自身は当日しゃべるだけということだったのですけれども、大変質の高いご意見を皆さんからいただきまして、意見提言としてまとめさせていただきました。

厳しい中にも真剣に、あたたかい雰囲気の中でこの懇談会が進んできたかなと、委員の皆様方の人間性の豊かさを感じさせていただきました。このままお会いできなくなるのが寂しいくらいで、充実した約1年間、10ヶ月、皆さんとこういうつながりが出来て本当に嬉しかったです。皆さんのご意見の中にありましたように札幌市の、全道、全国の子どもたち一人一人のために何かできることがあったら、また何かしたいなという思いをしております。今後ともまた色々な場面でお世話になることがあるかと思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。事務局の皆さんありがとうございました。

それではこれで閉会させていただきますが、最後に事務局から何かありましたらお願いいたします。

**事務局（教育次長）** 教育次長の末廣でございます。事務局を代表致しまして一言ご挨拶を述べさせていただきますと思います。

皆様方には昨年12月以来8回に渡りまして、協議をしていただきました。本日を持ちまして残念ながら最後ということでございます。

座長、副座長をはじめ、委員の皆様方には、ご多忙の中適正配置のあり方について熱心にご討議をいただきました。感謝とお礼を申し上げます。小中学校の適正配置に関する問題につきましては、この懇談会が開催されます都度、新聞に掲載されました他、実は今月27日の市議会第3回定例会の中の私ども教育関係の中でも、適正配置が取り上げられました。このように各方面から高い関心が寄せられました。

先程委員の皆様方からご意見ございましたけれども、昨今少子高齢化ということで社会環境が大幅に変化しております。各自治体、とりわけ大都市札幌におきましても、学校の小規模化が問題となってきておまして、子どもたちの教育を担う教育委員会と致しまし

ては、良好な教育環境を子どもたちに確保することで、学校の適正な配置を行うことが不可欠な状況になっているところでございます。

そのような中、当懇談会が札幌市の小中学校における学校適正配置のあり方について、活発なご論議をいただきまして、私は4月27日の第3回以降の会議に出席をさせていただきました。先ほど各委員さんの方からお話にもございましたとおり、私も昨今色々な懇談会に出席させていただきましたが、この懇談会ほど和やかな雰囲気、学識経験者の方、また公募委員の方が本当に真剣にご論議をしていただいた会議はないなということを実感しております。毎回の懇談会開催を楽しみにしてございました。本当に皆様方ご熱心なご論議ありがとうございました。委員の皆様方には毎回それぞれの身近で具体的な事項、学校経営のご体験を通した前向きな問題提起、様々な視点からのご提案をいただきまして、この成果を意見提言としてまとめられたわけでございます。今後の適正配置計画の策定に向けまして、大きな足がかりになるわけです。願いは一つでございます。子どもたちにより良い教育環境を提供するための大きな一歩になると確信しております。

教育委員会としましては、皆様方がまとめづくりあげられました意見提言を真剣に受け止めまして、将来を担う子どもたちのために早急に計画策定に取り組んで参りたいと考えております。

結びになりますが、村瀬座長さん、佐藤副座長さん、並びに委員の皆様方には大変お忙しい中、お力添えをいただきましたことを厚く御礼を申し上げます、私からのご挨拶とさせていただきます。長い間ありがとうございました。

**村瀬座長** ありがとうございました。それではこれにて札幌市学校適正配置検討懇談会を閉会させていただきます。本当にありがとうございました。

**(以上第8回懇談会終了)**